



後援会だより (第2号)

～夏の思い出コンサート後援会～



「後援会だより2号」をお届けします。9月6日に夏の思い出コンサートが開催されました。出演者はもちろんのこと受付や舞台の設営等のスタッフのみなさまお疲れさまでした、189名の多くの方が来場されました。当日の会場の熱気が伝われば幸いです♪♪



♪コンサートに来場して ～井上良子様～

今回、初めて、夏の思い出コンサートに伺いました。

まず第1部の独奏・アンサンブルステージは、ピアノやフルート、ギターの演奏で始まり、心地よいクラシックの調べの合間には、リズムカルなサザエさんのメロディーを管楽器やフライパンで盛り上げるといふ演出もあり、見ていて楽しい舞台でした。

また第2部では、東日本大震災の被災地となった、宮城県の女川を訪れての「復興支援コンサート」の写真を音楽と共に拝見し、現地の今を知ることができ貴重な機会になりました。そして、東北を訪れたみなさんが、音を通じた繋がりを、遠く離れた福岡から東北に広げ、応援の心を届けている行動力はすごいと思いました。さらに、後半では合唱・合奏ステージということで、楽器が増え、舞踊も加わり、見ごたえあるステージが続きました。合唱に至っては、職場も年齢も異なる皆さんが、音のハーモニーを作り出し、まとまっている姿を拝見して、このイベントにかける熱意を感じ素敵だと思いました。そして、ラストは全員参加で盛り上がり、会場からの応援の拍手も含めて、演奏者も来場者もひとつになり心温まる空間でした。

これだけのステージを作り上げるのは、大変だったと思いますが、みなさんが楽しそうに演奏している姿を見ると、元気をもらうことができ、このコンサートの意義を感じました。今後もこの活動が続いて、ますます音楽を通じた絆が広がっていきますように応援しています。



コンサートに出演して

♪ 竹内聡氏 ～フルート～

おっかなびっくり、初めて福岡市職員の音楽会に参加させて頂きました。職員による自主運営での開催。演奏者は勿論、ステージマネージャーから会場係、舞台係に至る全ての関係者が組織的かつ有機的に機能し、大変良い演奏会であったと感じました。関係者の総力を引き出し、強かにリードした、多少あくの強い井料田氏にあらためて敬意を表すると共に、様々な立場で参加した皆さんの健闘を讃えたいと思います。音楽を愛する心を継続して育てあげ、来年は8回目を迎えるこの音楽会が、引き続き職員よる職員のための良きイベントであり続けることを祈念してやみません。そして、演奏会への参加を通じて得られる心地良い緊張と達成感こそが、明日の日常業務に向かう良き推進力になるはずと信じています。メンバー一同、決意を新たに新たな出発を期していきたいものです。

♪ 高園英太郎氏 ～合唱&指揮～

合唱の練習及び当日の指揮を担当しました。合唱は、6月から3か月間、計10回の練習を重ねたうえで、本番に臨みました。新しく合唱に参加された方は18名中6名で、うち5名が初心者という状況でしたが、他のメンバーの助力も頂きながら、本番は無事演奏を行うことができました。昨年と比べて、ご来場いただいたお客様が増えているように思います。演奏に熱がこもりました。お客様からもお褒めの言葉をたくさん頂戴しております。また、メンバーからは、とても楽しかったという声が多く上がっております。

後援会の皆様、この度は、温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。



♪ 田村亮祐氏 ～ピアノ～

今回演奏した、ベートーベン交響曲第5番のピアノバージョンですが、私の中ではオーケストラ演奏の迫力に負けるので、不安な面もございました。

終わってみると、お客様からのアンケートで、お褒めの言葉を多数頂きまして、大変うれしい限りでございました。

これもひとえに、ベートーベンという偉大な作曲家の残した非常に印象に残る交響曲と、その特徴的な音型を損なうことなくピアノソナタに編曲したこれまた偉大なリストという2代巨頭のおかげであるとひしひしと感じております。

今年の演奏会が終わり、来年に向けて選曲を行っておりますが、交響曲5番の次の曲を何にするか、悩んでいるところでございます。

来年に向けて、また日々精進致しますので、応援のほどよろしくお願いいたします。



♪ ホームページもご覧ください

夏の思い出コンサート後援会 <http://summermemocon.com/supporter/index.html>
福岡市職員音楽会実行委員会 <http://summermemocon.com/>

夏の思い出
コンサート
後援会

平成26年10月発行

